

2018 年度

ロシア留学報告書

実習先：ウラジオストク国立経済サービス大学

実習期間：8月28日（火）～12月27日（木）

新潟国際情報大学

国際文化学科

学籍番号：21017108

藤 智洋

目次

1	研修先及び実習期間	3
2	研修先概要	3
3	留学目的	3
4	留学内容	4
4 - 1	留学のスケジュール	4
4 - 2	留学先大学の授業の時間割	5
4 - 3	時間割の詳細	6
5	当初目的・目標への達成度	8
6	反省・課題	8
	謝辞	8
	付録：研修日誌	9

1 留学先及び実習期間

研修先：ウラジオストク国立経済サービス大学

研修期間：平成 30 年 8 月 28 日（火）～平成 30 年 12 月 27 日（木）

2 留学先概要

(1)大学について

ウラジオストク国立経済サービス大学（以下、「^ヴ^グ^エ^ス В Г У Э С」という）は、ウラジオストク市内の中心部に位置し、その歴史は 1967 年までさかのぼる。当時のソ連政府がサービス業に従事する職員を育成しようと、設立されたのが В Г У Э С の始まりである。2017 年 9 月に В Г У Э С は創立 50 周年を迎え、ロシア国内だけにとどまらず世界中に述べ 5 万人を超える学士、修士、博士を輩出した。

(2)大学で行われている教育について

В Г У Э С では経済学とビジネス、経営、観光、デザイン、工学と国際研究が学べる。同校はロシア連邦教育省からいくつも賞を受けており、ウラジオストクにおける最高水準の教育機関の 1 つである。

3 留学目的

この留学の目的は 2 つある。

1 つは、最大の目的である「語学力の向上」だ。留学までの 1 年間は文法を中心に学習しており、日常的にロシア語に接する機会が著しく乏しく、リスニングやスピーキングの能力はあまり向上しなかった。しかし、4 か月もの間ロシアで生活をするとなれば、耳も養われ、生活するうえでスピーキングも極めて重要になってくるため、総じて語学力の向上につながるのではないかと考えた。

もう 1 つは、「異国文化を体感すること」だ。新潟から最も近い外国であるロシアのウラジオストクは、飛行機でわずか 1 時間 30 分の距離にある。最も近いからこそ、ウラジオストクという街を知り、伝統料理や工芸品はもちろんのこと、異国情緒あふれる街並みなども見てみたいと考えた。

4 留学内容

以下に留学の内容を記載する。

留学期間中に行った活動の詳細は付録に記載する。

4 - 1 留学のスケジュール

留学期間中のスケジュールは以下のとおりである。

月	日	スケジュール
8	28 (火)	15:40 (日本時間) 出発。19:05 (現地時間) ウラジオストク国際空港到着。
	29 (水)	学生証発行手続きと先生方の紹介。
	30 (木)	健康診断を受けたのち、市内観光。
	31 (金)	クラス分けテスト (文法60分、リーディング40分)。
9	2 (日)	11時から市内観光をしたのち、ルースキー島へバスで向かう。
	3 (月)	授業開始 (クラス分けテストの結果が出るまでの仮の授業)。
	10 (月)	クラス分けテストの結果をもとに、クラスが2つに分けられる。これから帰国までの授業はこのクラスで行われる。
	15 (土)	トカレフスキー灯台を観光。
	23 (日)	ВГУЭС で日本語を勉強しているロシア人学生たちとハイキング。
	27 (木)	美術館で絵画の鑑賞。
	30 (日)	ロシア「トラの日」。虎の保護を訴えるパレードに参加。
10	5 (金)	授業なし。サナトルナヤ駅近くの公園でレクリエーション。
	6 (土)	サーカスを鑑賞。
	28 (日)	マリインスキー劇場沿海州別館でオペラ『カルメン』を鑑賞。
11	3 (土)	マリインスキー劇場沿海州別館でバレエ『海賊』を鑑賞。
	15 (木)	学内のイベントにて、日本人留学生のみで2曲を歌う。
12	12 (水)	Чтение текстов (長文読解) のテスト。
	13 (木)	Разговорный русский язык (会話) と Русские народные инструменты (音楽) のテスト。
	14 (金)	Беседы по истории (ロシア史) のテスト。
	17 (月)	Аудирование (リスニング)、Лексика и грамматика (文法)、Российский ДВ (極東地理) のテスト。
	18 (火)	Письмо (文章表現) と Основы ИЗО (美術) のテスト。
	24 (月)	ウラジオストク郊外の公園へ遠足。
	25 (火)	クリスマス会。その後、成績表を授与。
	27 (木)	帰国。

4 - 2 留学先大学の授業の時間割

以下は9月3日（月）から9月7日（金）までの時間割である。

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1 限 (8:30～ 10:00)	Устная речь	Письмо		Устная речь	
2 限 (10:10～ 11:40)	Чтение	Аудирование	Устная речь	Аудирование	Чтение
3 限 (11:50～ 13:20)			Грамматика		Грамматика
4 限 (13:30～ 15:00)	География России	Основы русской музыки		Русской изобразительное искусство	История России

以下は9月10日（月）から12月25日（火）までの時間割である。

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1 限 (8:30～ 10:00)	Аудирование (リスニング)	Разговорный русский язык (会話)	Разговорный русский язык (会話)	Лексика и грамматика (文法)	Лексика и грамматика (文法)
2 限 (10:10～ 11:40)	Чтение текстов (長文読解)	Письмо (文章表現)	Чтение текстов (長文読解)	Разговорный русский язык (会話)	Аудирование (リスニング)
3 限 (11:50～ 13:20)					
4 限 (13:30～ 15:00)	Российский ДВ (極東地理)	Основы ИЗО (美術)		Русские народные инструменты (音楽)	Беседы по истории (ロシア史)

4 - 3 時間割の詳細

■ Аудирование (リスニング)

授業は、音声を聞き教科書の穴埋めを埋めたり、問題に答えたりすることが主な内容である。知らない単語や難しい格変化が頻繁に登場するため、予習復習が大変であった。

テストは、コンピューター教室で行われ、ヘッドフォンをつけて自身で音声ファイルを再生し、問題を解いた。すべて選択式で、何度も音声を聞き返すことができた。

■ Чтение текстов (長文読解)

毎回2つか3つの長文を授業内で読んだ。日本ではロシア語の長文を読む機会がほとんどなかったため、始めのうちは苦勞したが、2か月も経過する頃には楽にこなせるようになった。

テストは、1つの長文と、3つの短文を読んだ。それぞれ選択肢も用意されていた。

■ Российский ДВ (極東地理)

主に極東の自然、気候、資源、動物について学んだ。一度、小テストが行われた。

テストは、授業で学習した全範囲から出題された。本来であればテストは12月24日に行われるはずであったが、その日の授業が急遽中止となることが判明したため、12月17日に予告なしで行われた。

■ Разговорный русский язык (会話)

授業では、2～3週間かけて1つの題材を学習し、それに関連する会話表現も覚えた。題材は家族、体、家、都市、病院などがあった。

テストは、2種類行われた。1つは短文を読み、内容を自分の言葉で説明することで、もう1つは、いくつもの状況が書かれた紙を渡され、指定された状況の当事者になりきって、説明することであった。

■ Письмо (文章表現)

授業では、SMSの書き方、長文読解、間接話法や直接話法なども学んだ。宿題では写真を見せられ、それに沿った物語を自分で考えてくる、といったものが多く出題された。

テストは、今までの授業で扱った内容の復習で、ノートやプリントを自由に見てもよいものであった。

■ Основы ИЗО (美術)

授業では、ロシアの衣装、**хохлома** (ホフロマ塗り)、**гжель** (グジェリ焼き)、 絵画などを学んだ。学ぶだけでなく、実際に自分で作ったり、描いたりすることも多かったため、とても楽しい授業であった。

テストは、絵画の題名を見て作者を答える問題や、「風景画家とは何か」など、授業で扱ったものが出題された。

■ Лексика и грамматика (文法)

授業では、格変化を中心に学んだ。格はロシア語で「**падеж**」と呼ばれ、**падеж 1** (主格)、**падеж 2** (生格)、**падеж 3** (与格)、**падеж 4** (対格)、**падеж 5** (造格)、**падеж 6** (前置格) の6種類あるため、留学前に覚えておくことが望ましい。

授業ではまず、**падеж 6** から学んだが、軟音変化と硬音変化の区別をつけるのが一苦勞であった。テストは、クラス分けテストの際に受けたようなテストで、45分で全70問、すべて選択式であった。

■ Русские народные инструменты (音楽)

ロシアの歌である“Подмосковные Вечера”と“Катюша”をほぼ毎授業で歌った。ロシアの伝統的な楽器や作曲家についても学んだ。

テストは、「独唱とは何か」、「ロシアで有名な詩人は誰か」など、授業で扱った基本的な内容が出題された。

■ Беседы по истории (ロシア史)

授業では10世紀から15世紀末を、その時期に活躍した重要人物の生涯をもとに学んだ。日常的に使わない単語が数多く出てくるため、予習復習が大変であった。

テストは、語句の説明が中心に出題され、その多くは選択式であった。

5 当初目的・目標への達成度

最大の目的は「語学力の向上」であったが、留学前に比べ、目覚ましい成長を遂げることができたと自負している。ことリスニングにおいては、街中での会話やアナウンスなど、無意識のうちでも聞きとっていたため、最も能力が身についた。授業終わりや週末には、街に出向くことで様々な文化、歴史にも触れられた。十分に満足いく留学であった。

6 反省・課題

文法はもとより、単語もろくに覚えないうまま留学を迎えたため、留学の初期は苦勞の連続であった。もう少し単語や文法を知っているだけで、留学がより有意義なものになったであろう。しかし、それ以上に得たものは大きい。帰国してからは当然のことながら、現地ほどロシア語を使う場面が減る。だからこそ、得たものを無為にしないためにも、継続的な学習が必要である。これからも日本で積極的に取り組みたい。

謝辞

この度は、我々の留学を受け入れて下さったウラジオストク国立経済サービス大学の皆様、我々にロシア語をご指導して下さいました先生方、その他お世話になった皆様には心から感謝を申し上げます。また、留学前の事前研修や留学中にもお世話になった神長先生とブラーソル先生、我々が留学を無事に終わられるよう尽力して下さいました大学関係者の皆様にも、深く感謝を申し上げます。

付録 留学日誌

■ 8月28日（火）出発日&到着日

15:40（日本時間）に成田空港を出発した。19:30（以下、現地時間で記す）にウラジオストク国際空港に到着し、まず入国審査を受けた。審査終了後、搭乗口の外にいらっしゃるプラーソル先生と合流した。そして、空港の目の前に停車している ВГУЭС のバスに乗り、40分ほどかけて大学内の寮へ向かった。

寮に到着してからは、事前に決めた部屋割りが発表された。外国人（主に韓国人）との同室を希望した人と、日本人（同級生）との同室を希望した人に分けられた。ルームメイトは9月6日に来たため、外国人との同室を希望した人はそれまで実質1人部屋であった。

寮に荷物を置いてからは、近くのスーパーの「РЕМИ（徒歩10分。24時間営業）」へ向かい、プラーソル先生から買い物の手ほどきを受けた。買い物が終了したのは22:00過ぎであった。



■ 8月29日（水）

この日はまず、寮内のホールに9時に集合した。我々の世話係の1人、マリーナ先生が紹介された。その後、大学内のカフェに行き朝食を済ませた。10時頃には学生証を作るため移動した。

マリーナ先生に大学内を案内して頂いた。ВГУЭС はとても広いため、教室などの位置関係を把握するのは一苦労であった。何度も行き来して構造を叩き込む必要がある。

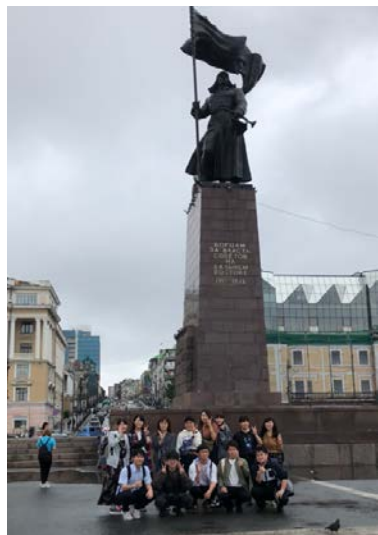
昼食は食堂で食べた。その後は教室に移動し、ВГУЭС で日本語を教えていらっしゃるユーリヤ先生も紹介された。

その後、ВГУЭС で日本語を学習している学生のリザさんに連れられて、РЕМИ より少し遠い「Я П П И（徒歩15分）」というスーパーに行った。レミよりも少し高いが、店員さんの対応はレミよりもよく、店内の雰囲気も落ち着いていた。

■ 8月30日（木）

この日は10時から健康診断を受け、学生登録のためにパスポートも渡した。健康診断終了後は、マリーナ先生と共にウラジオストク中心部へ向かった。

中心部を歩いて回り、昼食はブリヌイを食べた。3～4時間市内観光をした後、帰寮してからは自由時間であった。



■ 8月31日（金）

10:30 からクラス分けテストを行った。内容は文法問題 70 問を 60 分、リーディング（長文問題）18 問を 40 分であった。このテストの結果をもとに、9月10日にクラスが2つに分けられる。

その後はプラーソル先生に会い、連絡事項を聞き残りの時間は自由時間であった。

■ 9月2日（日）

11時からバスでルースキー島へ向かった。最寄りのバス停から極東連邦大学まで徒歩で移動し、散策を経て構内の食堂で昼食を食べた。それからまたバスに乗り、8月30日と同じく町の中心部へ行った。案内役のリザさんがショッピングモールなどを紹介して下さった。

港には大祖国戦争の英雄たちを讃えたモニュメントがたくさんあり、それらを見て回った。この日はロシアにとって「終戦記念日」のため、献花も行われていた。



■ 9月3日（月）

いよいよ授業が始まったが、これはあくまでクラス分けが終わるまでの1週間限定の日本人のみの授業であった。授業日程は5ページに記載のとおり。

初めての授業は皆緊張していたが、先生方がとても優しく接して下さったこともあり、とても楽しい授業であった。授業では主にあいさつ、年齢の表現、父称について学んだ。

■ 9月4日（火）

4限の授業ではロシア国歌を聞き、歌詞の意味も調べた。歌詞の中の単語は見たことのないものばかりだったため、調べるのが一苦勞であった。調べている間にも授業はどんどん先へ進んでいくため、調べる速さも大切である。電子辞書やスマホの辞書があればとても便利であると感じた。

■ 9月6日（木）

韓国人留学生8名が寮に来た。こちらが「アンニョンハセヨ」と声をかけると日本語で「こんにちは」と返してくれるなど、とても気さくであった。

写真は美術の授業の様子を撮ったもの。



■ 9月7日（金）

夜には我々の主催で、韓国人留学生たちと寮で食事会を開いた。韓国人留学生の中には、日本語がとても堪能な方がいらっしやったため、彼らと打ち解けるのはとても早かった。会話は主に英語であった。



■ 9月10日（月）

クラス分けテストの結果をもとに、クラスが2つに分けられた。時間割もクラスごとに異なるが、授業内容に大差はない。また、午後の授業（4限）は両クラス合同の授業である。

■ 9月15日（土）

マリーナ先生にトカレフスキー灯台へ連れて行って頂いた。灯台は海の上にあり、潮が満ちてくると靴が濡れてしまった人いた。そのため、サンダルなどを持参するとよい。また、海風も強いため、上着も持参するとよい。



■ 9月23日（日）

ВГУЭС で日本語を勉強しているロシア人の学生さんたちとハイキングへ行った。ハイキングといっても、登山と変わりなかったため疲弊したが、頂上からの眺めは絶景であった。



■ 9月24日（月）

日本語の授業を見学させて頂いた。また、「～になる」、「～したことがある」の使い方の授業も行なった。



■ 9月27日（木）

この日は美術館へ行った。ロシアの美術について、いろいろと学ぶことができた。



■ 9月30日（日）

毎年9月の最終日曜日はロシアでは「トラの日」と呼ばれ、虎保護を訴える日となっている。虎の仮装をした人々がパレードを行い、我々も参加した。数万人が参加するほど大規模で、その様子はこの日の朝日新聞デジタル版にも掲載された。



■ 10月5日（金）

この日は授業がなく、代わりに留学生全員（分かる範囲で韓国人、北朝鮮人、中国人、ベトナム人など）でサナトルナヤ駅までピクニックへ行った。初めて電車にも乗った。先生方がレクリエーションを催して下さったため、他国の留学生たちとも打ち解けられた。



■ 10月6日（土）

この日はサーカスを観に行きました。参加は任意ですが、同じクラスの韓国人たちも含め、我々は全員参加しました。料金は 500 p y б でした。空中ブランコやトランポリンなど、どれも手に汗握るもので、席もステージに近かったため迫力満点でした。ショーには本物の熊も登場しました。



■ 10月28日（日）

この日はオペラ『カルメン (КАРМЕН)』をマリインスキー劇場沿海州別館で鑑賞した。セリフはフランス語、字幕はロシア語と英語であった。

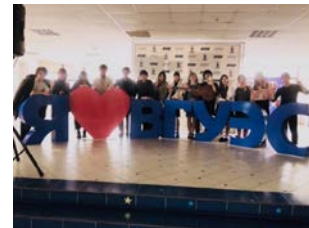
■ 11月3日（土）

この日はバレエ『海賊 (КОРСАР)』を前回同様、マリインスキー劇場沿海州別館で観た。



■ 11月15日（木）

この日は大学のイベントで、音楽の授業中に練習した“Подмосковные Вечера”と“Катюша”をステージで歌った。男女で1人ずつソリストが選ばれた。



■ 12月3日（月）

Российский ДВ（極東地理）の小テストが実施された。

■ 12月12日（水）

Чтение текстов（長文読解）のテストが実施された。今週からいよいよ本格的にテストが始まった。

■ 12月13日（木）

Разговорный русский язык（会話）と Русские народные инструменты（音楽）のテストが実施された。

■ 12月14日（金）

Беседы по истории（ロシア史）のテストが実施された。

■ 12月17日（月）

Аудирование（リスニング）、Лексика и грамматика（文法）、Российский ДВ（極東地理）のテストが実施された。

■ 12月18日（火）

Письмо（文章表現）と Основы ИЗО（美術）のテストが実施された。これにて、全科目のテストが終了した。テストは終了しても、授業はあった。

■ 12月24日（月）

ВГУЭСのバスに乗ってウラジオストク郊外の公園へ遠足に行った。



■ 12月25日（火）

先生方の企画で、クリスマス会が催された。その後、成績表が渡された。



■ 12月27日（木）

いよいよ帰国当日である。お世話になった寮の管理人さんや韓国人留学生たちに別れを告げ、ВГУЭСを後にした。空港までは、仲良くなったロシア人の学生の方々と共に行き、出国の手続きも手伝って頂いた。

